

科学研究費補助金（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	19100001	研究期間	平成19年度～平成23年度
研究課題名	会話エージェント研究共有プラットフォームの構築と利用技術の研究	研究代表者 (所属・職)	西田 豊明（京都大学・大学院情報学研究科・教授）

【平成22年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準
A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A 当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	B 当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C 当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
<p>(意見等)</p> <p>本研究は、人間とエージェント（ロボットや人工キャラクタ）との間で、親和的コミュニケーションを実現するための「身体性を持つ会話エージェント（ECA）」のプラットフォーム構築とその利用技術の開発を目的としている。研究は、順調に推進されており、最もコアとなる Generic ECA に関しては、国際的に高い評価を受けている。さらに要素技術、背景理論の研究も国際的に高い水準で推移していると評価できる。極めて挑戦的な課題であるため、検討が多岐にわたることは理解できるが、今後は、音声処理・言語処理コンポーネントとコアシステムの有機的統合を図り、出口イメージを明確にしたシステム構築を期待する。</p>	

【平成24年度 検証結果】

検証結果	研究進捗評価結果どおりの研究成果が達成された。
A	<p>当初の研究目的である人間とエージェント（ロボットや人工キャラクタ）との間で、親和的コミュニケーションを実現するための「身体性を持つ会話エージェント（ECA）」のプラットフォーム構築とその利用技術の開発を行った。最もコアとなる Generic ECA に関しては、国際的に高い評価を受け、当初の予定どおりの成果が達成されている。</p> <p>今回開発した ECA プラットフォームは会話エージェント研究開発において、独創的かつ重要な成果であり、論文発表による研究成果発信と共に、ECA プラットフォームを活用した実環境への適用などにより、さらなる発展を期待する。</p>